



〈愛西市議会9月定例議会〉 学校給食費の値上げの補正予算、手数料の値上げ条 例、令和6年度決算の認定など可決

愛西市議会は、9月26日に閉会しました。議案8件、認定6件、意見書1件が可決されました。

市民生活に負担増の議案ばかり
日本共産党議員団は反対。

■議案第39号愛西市手数料条例の一部改正について

○印鑑登録証交付等の手数料を市役所・支所で300円に値上げ。コンビニ交付は200円の据え置き。負担増と同じ公的サービスに差をつけることになります。外出支援サービス手数料の削減は利用者の負担増につながります。これらの理由で反対しました。

令和7年度補正予算四本に反対

■議案第40号令和7年度愛西市一般会計補正予算（第4号）

○子ども子育て支援金を国民健康保険被保険者、後期高齢者健康保険被保険者に負担させる仕組みを整えるシステム改修費2000万円は問題。小中学校給食食材費を1食当たり60円値上げします。中学校学校給食は有償化になり、小学校は30円補助増が増えても、

30円の負担増となると反対しました。

■議案第41号 令和7年度愛西市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

○子ども子育て支援金を請求するシステム改修で反対しました。

■議案第42号 令和7年度愛西市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

○子ども子育て支援金を請求するシステム改修で反対しました。

■議案第43号令和7年度愛西市介護保険特別会計補正予算（第2号）

○介護給付が計画より少なかったため、第9期の年間3000円の値上げをしなくてもよいほどの返還金の額になりました。3年の計画期間内であっても値上げしすぎた保険金を値下げすることを求めて反対しました。

令和6年度一般会計決算認定に反対。

■認定第1号 令和6年度愛西市一般会計歳入歳出決算の認定について

○基金の有価証券運用のマイナス19億円について、額面以上で購入した債券は、額面で、額面以下で購入したものは購入金額で残高が集計されていること明らかに。債券購入金額から債券売却金額を差し引いた実質損は、一億円

近い損失になります。

○道の駅周辺整備の多額な投資。道の駅の管理運営費の増額。

○高齢者の緊急通報システムを有料化し、月500円を徴収する制度に変更。結果として予算の300人が200人にも満たない結果に。在宅障害者扶助料の削減。障害者医療や後期高齢者福祉医療費の削減。命を守るという点で障害者や高齢者に冷たい市の行政運営は問題。

○以前は閲覧であった自衛隊への名簿提供は宛名シールに変更。
○子ども医療費の18歳年度末の医療費の無料化や中学校給食費の無償化によって子育て世帯の負担が軽減し、物価高騰の一助になっていることは評価。
○佐屋小や永和中体育館の健全度調査の結果から早急な改築の計画を進めることを求めました。永和中、全小学校の体育館の空調整備なし。トイレの洋式化なし。子どもたちの学習環境の整備を計画的に進めることを求めます。

自治体の役割は、住民の福祉の向上です。よって扶助費が多くなるのは当然なのに、扶助費を減らすことばかり進め、道の駅周辺整備の多額な投資の財源にする市の財政構造が一層明確になった令和6年度一般会計決算の認定に反対しました。

特別会計・事業会計の認定
いずれも値上げ等で負担増となったので反対

■令和6年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定

■令和6年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定

■令和6年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定

■令和6年度水道事業会計決算の認定
■令和6年度下水道事業会計決算の認定

令和6年一般会計決算と特別会計決算3本の各議案に対し再提出を求める動議が賛成少数で否決。

4本の決算認定議案について、会計管理者が病気休職中で、決算資料を作成したのは会計室室長補佐（会計管理者代理）であったのに、令和6年決算資料には、権限のある代理の印ではなく、休職中の会計管理者印と管理者本人の印が押印されて提出されていた。

社会通念上の問題があり、再提出を求める動議を出しましたが、賛成少数で否決されました。

動議に賛成した議員（50音順、敬称略）

河合克平、角田龍仁、
真野和久、吉川三津子

反対した議員

石崎誠子、鬼頭勝治、佐藤旭浩、
佐藤信男、杉村義仁、高松幸雄、
竹村仁司、永田千佳、中村文武、
原 裕司、馬淵紀明、山岡幹雄

（議長 近藤武）